

Vol.4(令和4年度2月号)

おかやま 地域づくり 通信

「おかやま地域づくり通信」は、岡山市民の「協働(※)」への理解と参加の促進を目的に岡山市(ESD・市民協働推進センター)が発行する機関誌です。今号では、市民活動団体等と行政が協働で岡山市の課題解決をはかる「市民協働推進事業」と、住民が主体となって地域の課題解決や魅力向上に取り組む「区づくり推進事業(地域活動部門)」を題材として、事業に関わる人たちの思いを紹介します。

※協働:同じ目的を達成するために、互いを尊重し、対等の立場で協力して共に働くこと



第7回「おかやま協働のまちづくり賞」にて大賞を受賞した「建部町伝統芸能伝承保存会」の「村廻り」の様子。

第7回「おかやま協働のまちづくり賞」が決定しました！



令和4年11月23日に実施した市民協働フォーラムでの表彰式の様子。左から千種学区まちづくり協議会、旭竜学区安全・安心ネットワーク、林副市長、建部町伝統芸能伝承保存会、NPO法人岡山市子どもセンター、漱石ロード活性化委員会

岡山市内で実施される「多様な主体の協働による優れた地域の社会課題解決に関する取組」を表彰する「おかやま協働のまちづくり賞」の第7回受賞取組が決定しました。今回のテーマは「伝統・文化で育む、コミュニティと郷土愛～コロナ禍でも取り組みを止めない～」でした。

地域の伝統・文化を守り、育てながらコミュニティの活性化や郷土愛の醸成をはかる9つの取組がエントリーされ、インターネットによる投票と審査会による審査を経て、以下の結果となりました。



結果	取組名	代表団体
大賞	引き継げ！繋がれ！獅子舞、棒遣い等郷土芸能伝承保存活動	建部町伝統芸能伝承保存会
入賞 (順不同)	万の富を探す会	千種学区まちづくり協議会
	地域で子育て！循環する地域社会とより良い子育て環境づくり	旭竜学区安全・安心ネットワーク
	舞台芸術を通した子どもの豊かな育ち支援事業	NPO法人岡山市子どもセンター
	夏目漱石を活かした西大寺金田地区のまちおこし	漱石ロード活性化委員会
奨励賞	津高地区親子まつり	津高地区親子まつり実行委員会

受賞に至らなかった取組も含め、たくさんの方々が郷土への愛着や誇りを育て、伝えていく役割を担っていることがわかりました。人口減少・少子化の影響によって受け継がれてきた伝統・文化が消えてしまわないように、岡山市ならびにESD・市民協働推進センターは今後もこれらの取組を応援していきたいと思っております。

大賞「引き継げ！繋がれ！獅子舞、棒遣い等郷土芸能伝承保存活動」の紹介

建部地域は、人口減少や少子高齢化によって集落機能が低下しつつある、いわゆる「中山間地域」となりますが、各地域で先人から受け継がれた由緒ある獅子舞・棒遣い(※)などの伝統芸能が伝承されており、これらを絶やすことなく後世に伝えていくための活動が継続されています。

※棒遣い：建部祭り等で奉納されるお祓いの神事で、災難を打ち払い悪魔・悪霊を退散させ、無事安泰を願う祈り・呪術。その沿革は天孫降臨のみぎり猿田彦命が先導の大役を果たされた神話に由来するといわれている。

「建部町伝統芸能伝承保存会」では、平成24年の発足後、旧建部町内の12団体が一堂に会して、個々の課題共有や解決策を考える「連絡会議」を実施してきました。

この活動では、子どもから高齢者までが関わる「三世代参加」を大切にしており、多世代が交わることで顔の見える関係を広げていながら伝統芸能の伝承・保存だけでなく、災害時の共助の促進など、安全で心豊かな地域づくりを目指しています。

(この取組の協働団体/順不同)

建部町三学区連合町内会及び単位町内会、建部町公民館、建部中学校、建部小学校、竹枝小学校、福渡小学校、おかやま観光コンベンション協会、建部町観光協会、岡山市産業観光局 観光振興課、岡山市北区役所 建部支所、たけべ八幡温泉、御津獅子舞継承活動実行委員会、たけべ新聞



「建部町伝統芸能伝承保存会」前代表 二宮誠さんへのインタビュー



取組において大事にされていることはなんですか？

子どもたちの参加にあたっては、活動の中で楽しさや面白さなど興味がわくことが肝要であり、練習成果の発表の場の提供もその一つとして、達成感を味わうことで持続可能な伝承活動に結び付けばと考えています。

また、獅子舞は各戸の厄除け、禍を祓い、棒遣いは魍魎魍魎(ちみもうりょう)を退散させ、祓い清めるなど「何のために行っているのか。どのような意味があるのか。」を演舞や囃子の伝承活動に加えて子どもたちに

しっかりと伝えていきたいと思います。

コロナ禍で苦勞したことなどがあればください。

活動中止期間が長引くにつれ、今まで参加していた子どもが離れていくのではないかと心配しています。中には演舞や笛の音色を忘れないように、村廻りの活動を録画したDVDを子どもたちに配り、大切さを伝えた団体もあります。

また、特に獅子舞の演舞は、獅子頭の顎(あご)を支える棒を口で銜(くわ)えて頭を被る仕組みになっていることから、活動継続はできないのではと懸念していましたが、使用毎に銜え棒(くわえぼう)に貼ったビニールテープを取り替えたり、消毒等を入念に行うことで3年ぶりに活動を再開した団体もあります。

地域の伝統・文化の保全や伝承に携わっておられる方々へのメッセージをお願いします。

人口減少や少子高齢化により、後継者不足が深刻な状況となっていますが、保存会活動のみでなく、地域を巻き込み、コミュニティづくりの場の一つとして、みんなに認識してもらうことも継続の一助になるのではと思います。

持続可能な地域づくりのための人材育成事業の紹介

岡山市ならびにESD・市民協働推進センターでは、第2次岡山市協働推進計画の基本方針1「協働の主体となる新たな担い手を育てるとともに、その活動を支援します」に基づいて、地域活動・市民活動のリーダー等を対象とした研修を実施しています。

岡山市第2次協働推進計画 基本方針1の成果指標	現状値 (2020年)	目標値 (2025年)
地域活動への市民の参加割合	45.3%	50.8%
若者(20歳代)の地域活動への参加割合	20.1%	25.1%

5か年計画の2年目となる今年度は、地域活動のリーダー・サブリーダーを対象として、これまで地域活動へ参加したことのない住民を地域活動へ誘う方法を学ぶ研修のほか、大学生・高校生などを対象として、様々な地域活動を知り、体験する研修を実施しました。ここでは、令和4年度に実施した研修の一部をご紹介します。

地域活動リーダー養成講座「今日から実践！地域活動に誘ってみよう」

■日時:令和5年1月21日(土) 13:00~16:00

■場所:岡山市勤労者福祉センター 5階体育集会室

■参加人数:13名(オブザーバー2名をのぞく)

■登壇者紹介:

・講師:澤岡 詩野さん(公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団/主任研究員)

専門は老年社会学(社会関係)、都市社会学、建築学(都市計画)。研究テーマは都市高齢者の周縁部の社会関係(仲間や知り合い等のゆるやかなつながり)等。

・事例発表①:泉 明佳さん(さい子ども会/育成会長)

子どもと保護者が楽しく過ごせる地域にしたいと思い、子ども会活動を積極的に進めている。地域の繋がりがりづくり活動では、「さい子ども会フリースペース」、「駄菓子屋さい子ども会」を定期的で開催している。

・事例発表②:永野 直子さん(くらしのたね/運営担当)

コンセプトは「地域と人をつなぐ」。地域と共に育つ場所として、木曜日に助産師と理学療法士による子育て相談の場と「ぬるま湯のまごわやさしいランチ」提供、金曜日に自主保育「たねっこほいくえん」を開催中。

■当日の概要:

【基調講演】

講師より、「あなたや地域が『なじみ』の存在になるには？」と題して、たくさんの統計情報と事例を交えた講演を行いました。「コロナ禍」を経た今だからこそ「タネマキ」が有効であり、タネマキのコツは「ゆるやか」であることとほんの少しの「プロダクティブ」を加えることであるとのアドバイスをいただきました。



【事例発表とトークセッション】

岡山市内で活躍する2名の実践者から活動報告がありました。2名とも40歳代ながらリーダーとして活動をけん引されており、講師を交えたトークセッションでは経験が浅い人たちのやる気を引き出す工夫として、意見を否定しない等のルールづくりやなんでもおもしろがる姿勢の重要性を確認しました。

【ワークと全体共有】

はじめに個人で「新たな仲間を誘うためにできること」を考え、グループで協議した後、全体への発表を行いました。「役員自身が活動を楽しんで、その姿勢を経験が浅い人たちに見せること」、「少人数での話し合いを取り入れ、一人一人の意見を尊重すること」、「自分でやろうとせずできるだけ他人の手を借りること」、「小さな変化を重ねる、発信し続ける」等、たくさんのアイデア・ヒントが全体で共有し、閉会しました。



市民活動リーダー養成講座 「はたらく×地域貢献 ～地元企業の事例から学ぶ～」

■日時: 令和4年9月16日(金) 14:00～16:30

■場所: 岡山国際交流センター 7階多目的ホール

■対象・参加人数: 岡山市内の大学生・10名(5大学)

■講師: 井口 陽平さん(NPO法人若者応援コミュニティのりす/代表理事)

■参加企業と取組の概要(順不同):

- ・大紀産業株式会社: 食品乾燥機の普及を通じたスーダンでの国際貢献活動
- ・おかやま信用金庫: 「おかやましんきんSDGsアワード」等によるSDGsの推進
- ・岡山スイキュウ株式会社: 「コミュニティフリッジ」との連携による食品ロス削減と生活困窮者支援

■当日の概要:

【講演】

講師より、企業による地域貢献活動の事例をもとに経営的な発展と地域への貢献は両立が可能であるとお話がありました。また、大学生に対して、企業の地域貢献を就職活動の基準にする際には誤解や思い込みがないように、自ら調べることの重要性を確認しました。

【企業の取組紹介】

積極的に地域貢献に取り組んでいる3つの企業より、それぞれの理念や地域貢献の取組を紹介しました。

【インタビューとまとめ】

講師の進行により、3つの企業が地域貢献を始めた理由や活動によってもたらされた効果等が紹介されました。最後に参加者全員で学んだことや感想を共有して、「働くこと」や「就職先を選ぶこと」に対する新しい視点を確認して、閉会しました。

【参加者の声】

- ・地域貢献という目に見えにくい活動が、実は日常に隠れていて、それらを探してみようということも社会とのつながりを意識するひとつの方法だと思った。
- ・自分が何をしたいのか、どんな貢献をしたいのか、よく調べて明確にして、就職後の違和感を防ぎたい。



市民活動リーダー養成講座 「高校生・大学生のごみ拾いボランティア体験 ～岡山芸術交流2022から見つける岡山の魅力～」

■日時:

- ・高校生: 令和4年10月16日(日)13:00～16:00
- ・大学生: 令和4年10月23日(日)13:00～16:00

■場所: 岡山市民会館及び岡山芸術交流会場など

■参加人数:

- ・高校生: 12名(岡山市内7つの高校より)
- ・大学生: 11名(岡山市内5つの大学より)

■協力:

- ・認定NPO法人グリーンバード 岡山チーム
- ・岡山芸術交流実行委員会

■行事概要(2回共通):

【活動の説明】

認定NPO法人グリーンバードの紹介を通じて、ごみ拾い活動の意義について理解を深めました。また、岡山市より、同時期に開催されていた「岡山芸術交流」のコンセプト等の説明を行いました。

【活動の体験】

岡山芸術交流の作品を鑑賞しながら、道中でごみ拾い活動を体験しました。

【体験の共有】

ワークショップでは、参加者同士が活動を通じて気づいたこと等を共有しました。

最後に今回の体験からの気づき、学びを共有するとともに地域へ関心を持つこと、活動へ参加することの意義と魅力を再確認して閉会しました。

■参加者の声:

- ・高校生: 今回は初めてのボランティアで不安もあったけれど、全体の雰囲気もよく、とても楽しかったです。これからも地域の人に役立つようなボランティアなどを続け、将来は多くの人に感謝される消防士になりたい。
- ・大学生: 「ごみ拾い×現代アート」という興味×興味のワードに惹かれて参加しましたが、期待以上の満足感でした。グリーンバードにも岡山芸術交流にも興味をもったので、たくさん足を運んで参加していきたいです。



SDGs・ESDの推進

岡山市では、市民活動に関わる人たちへのSDGs・ESDの普及・啓発を目的として、様々な事業を実施しています。ここでは、ESD・市民協働推進センターが運営に参加した2事業をご紹介します。

「未来わくわくSDGsフェスタ」

- 日時: 令和4年8月23日(火)
- 場所: イオンモール岡山 1階 未来スクエア

ステージでのパフォーマンスやワークショップを通じて、SDGsについて楽しく学べるイベントとして「未来わくわくSDGsフェスタ ～今日からはじめるSDGs～」を開催しました。

「岡山県内市町のキャラクターによるSDGs宣言」、「美作大学のヒーロー『地域貢献ミマダイン』によるSDGsヒーローショー」、「岡山大学ダンス部による『ぼうさいPiPit! ダンス』」、「池田動物園による生物多様性と私たちの暮らしの結びつきを学ぶ講演」、「高校生によるSDGs取組発表」等、多岐に渡るステージイベントに加えて、「出張! miniハブラボ」、「みつろうラップづくり」、「各種パネル展示」等、体験や学びのための催しに溢れ、子どもから大人まで、楽しみながらSDGsへの理解を深めることができるとなりました。



岡山県内市町のキャラクターによるSDGs宣言



「みつろうラップづくり」に挑戦する参加者

「おかやまESDフォーラム2022」

- 日時: 令和4年11月19日(土) 13:00~17:00
- 場所: 岡山国際交流センター 2階 国際会議場

岡山県内の高校生や大学生、岡山県内外のESD関連団体の代表者等、約60名が参加する中、はじめに各受賞団体の表彰式とプレゼンテーション(取組の発表)が行われました。

(※各受賞団体と取組の詳細は右のコードよりご覧ください。)



第二部では、岡山県内の中学生による取組発表がありました。

(取組発表校・グループ) ※順不同

- ・灘崎地域の中学生による「チーム灘」(岡山市南区)
- ・岡山県立勝間田高校(勝央町)
- ・清心女子高等学校(倉敷市)
- ・岡山県立岡山工業高校(岡山市北区)
- ・岡山県立岡山城東高校(岡山市中区)

いずれの取組も大人顔負けの洞察力と子どもならではの行動力が生かされており、発表後は会場の大人たちから大きな拍手が送られました。その後、中高生と大人の混同グループにより、取組を発表した学校・グループへの感想・助言と「次世代に残したいもの・残したくないもの」を考えました。どのグループも議論が盛り上がり、たくさんの意見が出されていました。



ESDアワード受賞団体と主催者による記念撮影

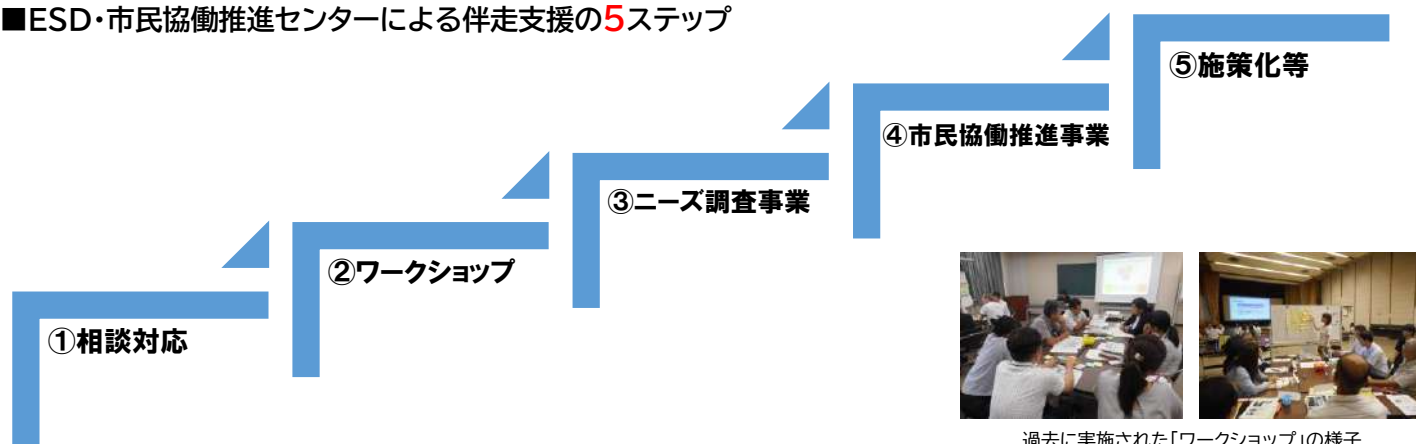


中高生と大人による意見交換

ESD市民協働推進センターの紹介

おかやま地域づくり通信Vol.3(令和4年10月号)に続き、ESD・市民協働推進センターの取組をご紹介します。

■ESD・市民協働推進センターによる伴走支援の5ステップ



①相談対応	日常的に課題解決や協働に関する相談に対応しています。
②ワークショップ	「問題意識の共有」、「原因の分析」、「解決策の検討」等を目的としたワークショップを実施します。センターがテーマに関心のある団体や担当部署に声をかけ、様々な主体が見識や資源を持ち寄ります。
③ニーズ調査事業 (補助制度)	相談対応やワークショップの結果、課題の原因や対象のニーズ等に不明な点等があった場合、正確な根拠を備えるための調査事業を実施します。
④市民協働推進事業 (補助制度)	相談対応、ワークショップ、ニーズ調査事業の結果、岡山市(行政)を含む多様な主体間で計画が立案され、役割分担がはかられた事業については、社会課題を解決するための協働事業を実施します。
⑤施策化等	市民協働推進事業の成果が認められ、事業の継続が必要であると判断された場合、岡山市の施策化や実施団体の自主事業化等により補助期間終了後も事業を継続するための環境を整えます。

■伴走支援の実績

	相談対応	ワークショップ	ニーズ調査	市民協働推進事業		施策化等
				継続含む	新規のみ	
2014	125件	7テーマ	—	10事業	10事業	3事業
2015	243件	17テーマ	2事業	7事業	3事業	1事業
2016	298件	9テーマ	1事業	7事業	6事業	5事業
2017	242件	6テーマ	3事業	8事業	5事業	3事業
2018	208件	4テーマ	1事業	6事業	4事業	3事業
2019	302件	1テーマ	4事業	6事業	4事業	2事業
2020	420件	5テーマ	1事業	5事業	2事業	1事業
2021	311件	0テーマ	0事業	4事業	2事業	1事業
小計	2,149件	49テーマ	12事業	53事業	36事業	19事業

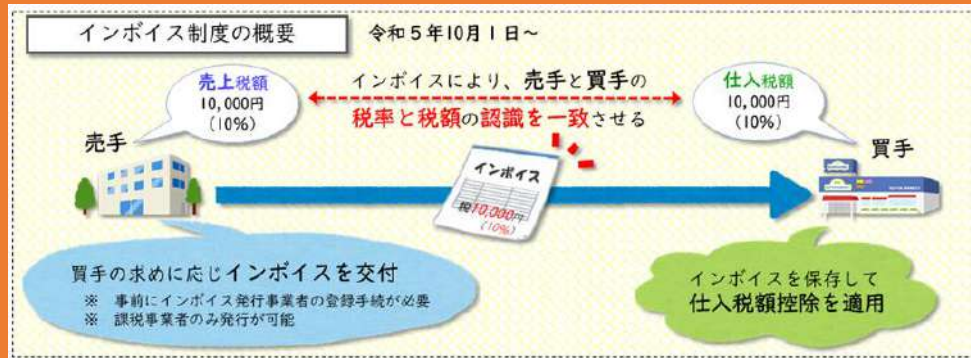
2014年度から2021年度までの8年間で計36事業が実施され、そのうちの19事業が「施策化等」に至りました。それまで存在しなかった新たな事業・制度がボトムアップで(市民活動団体と協働課によって)つくりあげられ、岡山市のセーフティネットの拡充や暮らしやすさの向上につながっています。これからもESD・市民協働推進センターは協働のコーディネイト機関として、たくさんの協働事業を形成、支援していきます。

令和5年10月1日から消費税の インボイス制度が開始されます

1 インボイス制度の概要

(1)導入の経緯等

インボイス制度は、複数税率に対応した仕入税額控除の方式であり、売手が買手に対して正確な適用税率や消費税額等を伝えるために導入されるものです。



(2)消費税の仕組み

消費税は消費者が負担することを予定する税ですが、納税をするのは、各取引段階において、消費者に物の販売や、サービスの提供を行った事業者となります。納税する消費税額は、売上げに係る消費税額から仕入れに係る消費税額を控除することにより算出します。この仕入れに係る消費税額を控除することを「仕入税額控除」といいます。

2 インボイス制度に対応するための検討事項・事前準備等

(1)インボイス発行事業者となるかどうかの判断

インボイス発行事業者となるかは事業者の任意であり、売上先がインボイスを必要とするか、申告に係る事務負担はどの程度発生するのか等を検討する必要があります。なお、インボイス発行事業者となると、基準期間における課税売上高が1,000万円以下となっても、免税事業者とはならず、課税事業者として申告が必要となります。

(2)登録申請手続

インボイス発行事業者の登録を受けようとする事業者（登録を受けることができるのは、課税事業者に限ります。）は、納税地を所轄する税務署長に登録申請書を提出する必要があります（e-Tax又は郵送により提出できます。）。制度開始（令和5年10月1日）からインボイス発行事業者となるための申請手続については、インボイス制度特設サイトの「申請手続」をご確認ください。

国税庁ホームページのインボイス制度特設サイト(右コードより)では、

① インボイスコールセンター(インボイス制度に関する一般的(※)なご質問やご相談)

0120-205-553(9:00~17:00 土日祝除く)

※個別相談(関係書類等により具体的な事実等を確認する必要のある相談)を希望される方は所轄の税務署への電話(音声ガイダンス「2」を選択)により、面接日時等をご予約ください。

② インボイス制度に関する税務相談チャットボット

③ 説明会の開催案内

④ インボイス制度について解説した動画(国税庁動画チャンネル)

⑤ インボイス制度に関する取扱通達やQ&A

などを掲載しています。



国税庁インボイス制度特設サイト

※本文は令和5年1月時点の法令に基づき作成しています。

編集後記

第7回「おかやま協働のまちづくり賞」を通じて、岡山市が誇るたくさんの伝統・文化を知ることができました。次回の「協働のまちづくり賞」のテーマはまだ決まっていませんが、きっと次回もまだ知らない岡山市の魅力やすばらしい取組・団体と出会えるはず！と勝手に期待を募らせています。皆様も次回の募集・表彰を楽しみにお待ちください。(高平)

【発行日】令和5年(2023年)2月28日 【発行元】岡山市(ESD・市民協働推進センター)
〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1-1 岡山市役所 本庁舎2階 市民協働企画総務課内
TEL:086-803-1062 FAX:086-803-1872 E-mail:esd-smc@googlegroups.com
つながる協働ひろば: <https://www.city.okayama.jp/kyoudou/index.html>

